

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.12

2013-14
2014年6月号
発行/2014年6月1日
COPY FOR MEMBERS

▶ ロータリー親睦活動月間

国際ロータリー第 2790 地区

2013-2014 年 ガバナー **関口徳雄** (浦安ロータリークラブ)



各クラブ会長幹事の皆さん、ご機嫌いかがですか？皆様も私同様いわゆる任期はあと1ヶ月ですね。

あちこちに咲く紫陽花を見ながら、もうそんな季節かと今更ながら月日の経つのは早いものだと思う今日この頃です。

会長幹事の皆様、1年間を振り返っていかがですか？何かやり残した仕事はありましたか？クラブを指導する立場になって何か得るものがありましたか？

ロータリアンは基本的には職業を持った経営者の集りですから、会長幹事も経営のトップであるなら、異業種であっても各会員も同じく経営のトップであって、全く同格です。従って、給料を支払って雇っている従業員に対する態度感覚で接触したら大変なことになります。

初めて会長幹事になられた皆さんは組織の中での同輩であるロータリアンの御し方に、異文化に出会った時に受けるような軽いカルチャーショックを受けられたのではないのでしょうか？

私の会長幹事の体験から申せば、ロータリアンはなんだかんだと言われている人でも、それぞれがそれなりの矜持とか何かを持っているということです。やはりロータリーに入会を許された会員は、さすがです、たいしたもんです。

さて、今月は表題の月間です。ロータリーの2本柱としてロータリアンのほとんどは「奉仕と親睦」を挙げます。私も、今年度地区のテーマとして「元気なクラブを目指して」を掲げ、奉仕と親睦の両輪を力強く回転させることが元気なクラブになることと申しておりました。

そして、親睦が失われればクラブは崩壊するであろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることは疑いのない事実です。

従って、私は奉仕だけではなく、又、親睦だけでは

なく、両者のバランスのとれた実践を求めたのです。

親睦と親睦活動とは次元が違うと言われております。月間で言うところの、ロータリー親睦活動は、友情と親睦を深めるために、共通の職業的活動又はレクリエーション活動を遂行する目的で結束したロータリアンのグループです。

そして、この月は、レクリエーションや職業で同じ関心を持つロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間です。

我が地区では、20年以上前から地区野球リーグが活発であり、各クラブ勝ち抜いて甲子園に出場するべく頑張っており、奉仕活動とは別に分区を越えた交流を続けております。

かつて地区野球リーグでメンバーを編成し、私も参加して(補欠か否かはともかく)アメリカ・サンフランシスコのモディスト市を訪れ、同市のロータリークラブと親睦交流試合をしたこともありました。又、その後オーストラリアにも遠征(?)し、親睦試合をしたこともありました。

親睦活動グループの公式認定はRI理事会の審査と承認及びその他の親睦活動グループの設置に関する方針に基づく(ロータリー章典42.010.3)とされております。

しかしながら、親睦活動は「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会」となるものですから、かような難しい手続であるRIに対するグループの承認云々はともかく、我が地区では、ゴルフ・テニス・俳句・川柳・切手収集その他趣味の世界での繋がりを深め、「親睦活動」そのものをより活発にし、もって会員増強の一助にと思えます。

次年度心の広い宇佐見ガバナーに期待します。



国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー事務所

〒279-0001 浦安市当代島 1-4-1-303

TEL.047-711-1545 FAX.047-711-1546

E-mail 13-14gov@rid2790.jp

URL http://www.rid2790.jp

一年を振り返って (反省を込めて)

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 関口 徳雄 (浦安RC)

「光陰矢の如し」まさしく矢のように早い一年でした。なんとかガバナー職を全うすることができましたのは、地区役員を含む各会長幹事、会員の皆様方の御支援のおかげです。

織田年度にガバナーノミニーに指名され、山田年度・得居年度を経て、昨年7月1日にガバナーに就任し、あつと言う間の一年でした。

さて、私はと言えば、エレクト時代のGETS、そして国際協議会と続き、この間、ノミニー時代からロータリーを勉強し、RIからの情報からRIの考え方・進む方向が分かりかけてきた頃になって、逆にガバナーとしての自信を失いかけてきたのです。

何故なら、一会員の時には、我が地区では情報研究会あるいはIMにおいても定番のテーマは職業奉仕を勉強することであったし、ロータリーの真髄は職業奉仕にありと、そして決議23-34の大切さを幾度となく先輩のロータリアンから叩き込まれてきたわけですが、ガバナー就任に近づくにつれ、我が地区、いや、多くの日本のロータリアンの考えとRIの方向とが乖離してきていることを知ったからです。この頃、他地区の日本のPDGにも、日本のロータリアンの多くが職業奉仕と「決議23-34」に執着しすぎているとの批判もありました。

加えて、「ガバナーはRIの役員であり、RIの理事会の一般的指揮監督の下に職務を行うことである。そして、ガバナーは、地区内のクラブに対する指導と監督を行うことでロータリーの綱領(目的)を推進する任務を課せられている。(当時の手続要覧)」とされているからです。

私のガバナーとしての立場を会社に例えれば、RI会長が社長で、RI理事会が取締役会で、さしづめ私は役員待遇の千葉県支店長でしょうか。そして、支店長として千葉県の84の代理店をまわって、今年度の社長の方針や会社の意向を伝達するのが仕事でしょう。会社なら、「今年度の売上げ目標は50億円、顧客を増やし、代理店を3店舗増開設せよ云々…」でしょうか。

しかし、もし、社長の方針や会社の方向が従前と違い、誤った方向と感じた時、会社の役員である支店長は社長や会社の方針に違反して各代理店に自らの信念を説き、会社の方針は間違っているから従うな、と言えるでしょうか。いや、その前に、役員である支店長は、社長・取締役会の方針とは違った自らの考え方・方針ないしは信念を伝えてよいのでしょうか？

一方、各代理店からも会社の方針は間違っていると指摘された時に、支店長は「そうだ、皆さんの言うとおりだ」と言っているのか？これではまるでガバナーは巷間言う「中間管理職」のようなものでしょう。

エレクト時代のある時、諮問委員会での雑談で、あるパストガバナーにこの点を質問したところ、ガバナーはRIの役員であり、地区をまとめるのが仕事だから、そこから自ずと結論が出るはずだから、考え過ぎるなと言われました。何やら分かったような分らないような中途半端な気持ちでガバナー年度がスタートしたというのが真相です。

いよいよガバナーとしてガバナー補佐会議、各地区委員長との会議、そして各クラブの公式訪問となるにつれ、再び悩み始めたのは、地区の運営方針がガバナーが変わる度にこのようにクルクル変っていいものなのか、あるクラブの会長から地区の方針が年度によって変化するので対応しにくいと苦情が寄せられました。

正に単年度と継続性の問題にぶち当たり、ガバナーとしてどちらの方に軸足をおくべきか悩みました。RIの方向は、あらゆる面で継続の方向ですし、R財団、特にポリオプラスそしてエンドポリオがその典型です。地区でも財団の補助金、米山記念奨学会の奨学生選考や青少年交換などは継続性が前提となっております。

しかし、ロータリーは組織として基本的には単年度制であり、過去の短所を承継しなくともよいとするところに単年度の利点があるわけですから、単年度制を否定するわけにはゆきません。そして、単年度制は指導者としての個性を発揮できます。ですから、私は、軸足は単年度制にしました。しかし、次年度宇佐見エレクトとは情報を交換しながら、良いものは原則継続させようという約束をしました。

次に、「国際ロータリーのロータリー財団」の位置づけに悩みました。RIの方向は財団一色です。RIの財団化と言われて久しいのですが、確かにR財団は必要ですし、今後必要でしょう。しかし、言い古された表現ですが、ロータリーは基本的には寄附団体ではないということを内外に向けて今一度発信すべきです。私は、ロータリーの本願は、ゴミを拾うことではなくゴミを捨てないような人を育てること、つまり、人間社会を倫理道徳心にあふれた人間で満たすことのお手伝いをするにありと申し上げ、その手法として、親睦と奉仕があり、特に職業を通じて自らの人格を磨き、道徳心を向上させることによってその心を他に伝播させることであると思うのです。

そのため、私は職業奉仕を天空にある北極星になぞり、ロータリアンを正しく導く指針だと申し上げました。

不易と流行にも悩み、世の中の移り変わり、常識及び価値観の変化に応じてロータリーも変らなければならぬと思いつつ、それでもロータリーとし

ては変えてよいものと変えてはならないものがあると思うのですが、ガバナー月信5月号に問題提起したとおり、私自身未だに解決できないのです。

私のガバナー年度に3年に1度の規定審議会があり、7月1日からRI定款・細則・標準ロータリークラブ定款が相当変更になりました。これにつき、ガバナーとして至急各クラブに情報を発信せよとの申し入れがありましたが、RIの日本支局からは二度手間になるので翌年1月に2013年版の手続要覧が発行されるまで待つように言われ、大変困りました。

月信9月号にも書きましたが、新世代の名称が青少年に変わったのに、月信は新世代月間のままだとか、他にも多くの矛盾点があり、詳しい手続要覧が発行されるまで随分と混乱しましたが、3年毎にかような問題が発生するのかなと思うと、何とかならないものか…困ったものです。もっとも発行された後でも問題が起きているようです。例えば、諮問委員会が「パストガバナー審議会」となりましたが、あれは諮問委員会の名称のままでよいとか、副ガバナー制度が新しくできましたが、条文によれば義務のような文言ですが、任意性が担保されているので、副ガバナー選出は義務ではないと考えるRI理事もいたり、まあ色々あります。

我が地区では、ガバナーの指名選出がかくも困難なのは一体何故なのか、どこに原因があるのかということ。他地区では、そのほとんどが容易にガバナーノミニーが選出され、時には候補者が多く投票選挙になるかもしれないという地区もあるというのにです。

かく申す私も、ノミニーに指名されるにつき、あーだこうだと理屈をつけて2～3年逃げ回っていたものですから、大きなことは言えないのですが、それにしてもどうしてなのでしょう？地域性・県民性なのでしょうかね？私共の責任でもありますが、ガバナー職は大変だ～と言いつぎるせいかもしれません。

私に一つ提案があります。ガバナー事務所を固定化したらどうでしょうか。私が調べたところ、同期のガバナー34地区中、常設の事務所は過半数を超えておりました。事務所を固定化すれば、ガバナー・エレクト・ノミニーが情報その他を多く共有でき、地区運営費・その他事務経費の節約に繋がるはず。交通事情も昔と違って格段に良くなっているのですから、アクセスも問題ないでしょう。良質なロータリアンが2700人もいる地区ですから、必ずや立派なガバナーを輩出するはず。最後に、ガバナー補佐の皆様、そして地区の各委員長、委員会の皆様、本当によくやってくれました。各自御多忙の中、土日は勿論、週日をも費やしての委員会そしてセミナーと、ガバナーとしては今更ながら頭の下がる思いです。会員増強につきましては、3000名の目標と大きくでましたが、これはハタリか否かはともかく、ガバナーの心意気を示しただけですが、この月信が発行される頃には約80名の純増となっているでしょう。次年度宇佐見ガバナーエレクトに頑張って貰いましょう。

1年間どうもありがとうございました。

2015-2016年度 ガバナー候補者指名について

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 関口 徳雄

地区指名委員会 委員長 中村 博亘



櫻木 英一郎 君
(千葉 RC)

ガバナー月信第9号(3月1日発行)にて要請いたしました「2015-16年度ガバナー候補者の推薦」の件につき、千葉ロータリークラブから下記会員の推薦がありましたので、指名委員会は、国際ロータリー細則13条13.020.4項の規定により、平成26年4月10日審議の結果、櫻木英一郎(さくらぎ えいいちろう)君を第2790地区2013-2014年度ガバナーノミニー(2015-2016年度ガバナー)として指名いたしましたので、お知らせ致します。

経 歴

氏 名 櫻木 英一郎
(さくらぎ えいいちろう)
生年月日 1949年(昭和24)8月19日
自宅住所 〒260-0032
千葉県中央区登戸5-19-11-203
自宅電話 043-242-0403
事業所 櫻木興業有限会社
事業所住所 〒260-0032
千葉県中央区登戸5-19-11-204
事業所電話 043-242-0403
所属クラブ 千葉ロータリークラブ
職業分類 不動産賃貸
最終学歴 早稲田大学商学部

ロータリー歴

2001年(平成13)3月26日 千葉ロータリークラブ
入会
2008年(平成20)～2009年 クラブ幹事
2013年(平成25)～2014年 クラブ会長

認証

ポールハリスフェロー (マルチプル)
米山功労者

ロータリーの考え方

ロータリーをもっと易しく理解する

趣味

骨董、書画、刀剣、日本史、系図、茶道、ヘラブナ釣り、その他



一年を振り返って

第1分区ガバナー補佐
市川シビックRC 鈴木 啓輔

ガバナー補佐という役割も何も理解しないまま、分区内のロータリークラブの内規のようなものに従いまして私のようなものが順番に当たったというわけで、仕事ができる出来ないのチョイスでは決してありません。ロータリーでは、“ノーはない”と常々言われておりまして、私がかもし絶対に不適だということでお断りいたしましたら、次年度からのガバナー補佐就任に際し悪しき前例をつくってしまうことにもなりかねず、お引き受けしたというのが正直な経緯です。

ホストクラブにロータリーをよく勉強されている会員がおられまして、年度初めまでに年間のスケジュールなど、それこそ、いろいろとオリエンテーションを受けました。その中でやっとガバナー補佐のうごきのようなものが、おぼろげながら明らかに

なつてまいりました。

年間スケジュールの中で一つ困ったことがありました。それは夜間における分区内会長・幹事会でした。それというのも、実は私は、お酒に対して全くと言ってよい程下戸なのです。これに関しましても各会長・幹事様方の御理解を賜りまして、ずいぶんと私のわがままをお聞きくださいました。本当に申し訳なく思っております。また、各クラブ訪問では、沢山の新しい出会いがあり、あたたかいおもてなしやら御支援を賜りました。さらにロータリーの財団化といわれる昨今ではありますが、ロータリークラブらしい素晴らしいいくつかの活動に触れる機会にも恵まれ、改めてロータリーの精神の崇高さを感じることもたびたびございました。

ロータリーに対して浅学のガバナー補佐でありましたが、第一分区の皆様方の御協力と御理解によりまして、どうやら低空飛行ではあります職責をはたすことができました。

誠にありがとうございました。篤く御礼申し上げますとともに、皆様方の御健勝ならびに御発展を心より御祈念申し上げます。



任期を終えるにあたって

第2分区ガバナー補佐
船橋RC 森嶋 康長

早いもので、ガバナー補佐の任期もあと1カ月というところまで来ました。これまで、第二分区を中心とした多くのロータリアンのご協力を得て、なんとか職務を遂行してまいりました。1年前を振り返りますと、関口徳雄ガバナーを補佐するという重責を、若輩の私が全うできるのかどうか、不安でありましたが、関口ガバナーをはじめとし、多くの皆様のご指導の下、無事務められたことに、改めて感謝申し上げます。

ガバナー補佐を務めさせていただき、一番私にとってよかったことは、多くのロータリアンの皆様にお会いすることができたことだと思います。6クラブに、ガバナー公式訪問を含めれば30回お邪魔したことになりますが、各クラブとも個性豊かで、また訪問時には、温かく迎えていただき、大変思い出深い経験になりました。

関口ガバナー年度では、情報研究会は、地区主催となりましたが、そのテーブルディスカッションで

は、テーブルリーダーを任せられ、参加者の皆様には、恐縮ですが、私自身にとっては、大変勉強させていただきました。

また、2月に開催した、インターシティミーティングでは、八千代中央ロータリークラブの広瀬幸吉様に「勝海舟と論語」という基調講演をお願いしましたが、好評を博し、僭越ではあります。同じロータリアンの友情に感謝申し上げる次第です。また、第2部では第2分区の会長エレクトによる「元気なクラブを目指して」という発表が行われ、お忙しい中にもかかわらず、各会長エレクトの皆様方が個性あふれる発表をしていただきました。この発表を通じて、次期リーダーのお考えが皆様に伝わったのではないかと思います。最後に、発表の講評を、宇佐見透 ガバナーエレクトをお願いいたしまして、発表者一人一人に対する丁寧な講評にガバナーエレクトのお人柄を感じました。

さらに分区のゴルフ大会では、多くの皆様に参加していただき重ねて御礼申し上げます。ホストクラブである船橋ロータリークラブのメンバーに支えられながら、第二分区を中心とした多くのロータリアンの皆様のご協力とご指導の下、浜名賢一前ガバナー補佐から引き継いだ大役を、次期渡邊幸一ガバナー補佐にお渡しできることに感謝申し上げ、任期満了の御挨拶とさせていただきます。



目から鱗！

第3分区Aガバナー補佐
千葉RC 並木 鷹男

見るも聞くも全てが新鮮だった。ロータリー人生27年間、こんな刺激的な20ヶ月は無かったろう。鎖国と比喻された千葉クラブにあって、外のことは一切耳目に入らず、ただ“休まず働かず”例会に出席し、クラブ内での親交だけを深めた。

そんなある日、何をやる人なのか良くも分からずに“並木なら出来るよ！”の先輩達の一言に踊らされて引き受けてしまったガバナー補佐、地区への出向経験は皆無だった。補佐会議では、ガバナー、パストガバナーは近寄り難い雲の上の人、居並ぶ補佐の顔ぶれを見渡せば、其々の分区から選出されたエリートロータリアン、顔つきも態度も“半端なく”、それにロータリーの話も高尚、とてもついていけそうにない。先ず、驚いたのは異国でもないのに言葉が通じないのだ。

その苦境を救ってくれたのは第3分区Bの石井補佐だった。手取り足取り導いて頂き、今、偉そうにガバナー補佐を全うしたかのような顔をしているが、石井補佐なくして私は“任務”を全うできなかったろう。

思い返せば楽しい思い出ばかり、補佐会議、三大セミナー、懇親会、公式訪問、地区大会、IM、それに毎月の楽しい合同幹事会、一つ一つの会議に、行事に、真剣に立ち向かい、取り組み、自己満足で

はあるが、それなりに成就できた。

“井の中の蛙”が、担当させて頂いた分区内のクラブを訪問し、偉そうにご挨拶してアドバイスを述べる。何とも不遜な、と思いつつも必死にロータリーの知識を学び、脳みそに汗掻くほど詰め込み、ガバナー公式訪問に緊張して臨む。しかし流石の関口ガバナー、どんな角度からのアドバイスも実に明解で説得力に溢れ、かつ理路整然、ひと言一言が心に沁みる。補佐担当の梶原さんと良く話し合った、クラブ訪問は素晴らしい学びの場であると。

特にIMは第三分区AB13クラブ、本気に合同で開催しようとの石井補佐の理想論的な発想に共感し真摯に取り組んだ。そして、白鳥PGのご指導と、DL友の会の皆さんの絶大なご協力を頂き、見事に開催できた。恐らくRLI方式を採り入れての、これだけ大規模なディスカッションはかつてなかったであろう、と自負する。『いやああ、凄く面白かった、素晴らしいIMだった！』先輩からの温かい感想に、今までの苦労が報われた、そんな思いで一杯だった。

振り返ってみれば、極度の緊張感の中で参加した第一回のガバナー補佐会議が、昨日のこのように鮮やかに蘇る。そして、今、鎖国を解いた千葉クラブから、瓢箪から駒のように見えるかも知れないが、実は艱難辛苦の末に、櫻木ガバナーノミニの誕生を実現させた。ロータリーライフ忘れ得ぬ激動の20ヶ月、関口ガバナーに、杉木PGに、白鳥PGに、そして2013～14年度の13名のガバナー補佐の仲間に、又、至らぬガバナー補佐を支えてくれた第三分区Aの会長、幹事の皆様に、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。



今年度を顧みて

第3分区Bガバナー補佐
千葉北RC 石井 七郎

今年度、ガバナー補佐を拜命し、第3分区Bのクラブの皆様にご支援を賜り無事任期を終ることができました。深く感謝申し上げます。

例えば2012年10月に開催された第1回のガバナー補佐会議（エレクト時）に於いて基本方針が発表されました。「親睦と奉仕」を強調し失なわれた委員会の復活を述べられた時、心が弾み感動した事を思い出します。逸る気持と緊張の中での各クラブの訪問から、ガバナーの公式訪問、チーム研修、PETS、地区協、さらに地区委員長主催セミナーへの出席、学ぶべきことは学び、そこで得た知識や情報を合同幹事会に報告し、クラブ運営の一端を担う役目を果たしました。

なかでも分区Aの千葉ロータリークラブ様とのIMの合同開催の思い出は懐かしく感じます。其々のクラブには培われた歴史と伝統があり、独自のクラブ

運営を行っていますが、「ロータリーには地位・名誉・クラブの良否、会員歴などによる会員同士の問題、上下関係などあってはならない。全ては対等である。」と言われていますが、実際にはどうでしょうか。“対等の思想”が本来守られていなければならないと思います。本年は3年に一度の規定審議会の年であり、ロータリーは少しずつ変化しています。どれだけ会員の為に良い方向に変わるか、RIや地区の方針に多少の戸惑いが感じられる昨今であります。

大切なことはクラブの自治意識をしっかりと持つ事ではないでしょうか。クラブは会員の為に有り、会員と共にクラブは栄える。今迄幹事長や10年に及ぶ地区委員を経験し、この度のガバナー補佐の任務を私の地区委員としての最終章にしたいと思います。

この1年を顧みて、ガバナー補佐を引き受けて良かったと思っています。未熟な私に多くのご声援を頂き心から感謝申し上げます。

個性豊かな方々との出会いや“時”が移り未来へと継承されるべき新しい年度に“時”の刻みを守られることを期待します。

終りにガバナー、ガバナー事務所の皆様そして分区内の会長、幹事の皆様、事務局員の方々に衷心より御礼申し上げます。

感謝



一年を振り返って

第4分区ガバナー補佐
木更津RC 堀内 正一

今年度、関口ガバナーは地区テーマを「元気なクラブを目指して」とし、例会は楽しく且つ緊張あるものにとされました。

私は、元気なクラブを実現するには、例会の在り方が大切であり且つ会員増強により新しい会員を入会させ新鮮な風をクラブに吹き込む事、その事でクラブが活性化されるものと思一年間活動してまいりました。

関口ガバナーから会員増強には一つの手法として四人組行動隊が提案され、退会防止にはベテランロータリアンのオリエンテーリングの大切さが示されました。しかし、結果は私の不徳の致すところ大変厳しいものとなりました。会員増強には会長・会員増強委員長そしてクラブ会員全員の熱意を如何に引き出すかしかないと思いますが、今更ながら会員増強・維持の難しさを痛感致しました。

それでも例会の在り方大切さについては、「インターシティーミーティング」で「例会に出席して何を学ぶの」のテーマのもと、土屋リーダーの基調講演そしてディスカッション形式による意見交換を通じて、参加

者に少しでもお役に立てたのではと思います。

またこれからのロータリーの活動、特に奉仕プロジェクト等には分区内8クラブの情報交換が大切である事も説明させて頂き少しずつですが実を結ぼうとしています。

一方、三年毎の規程審議会の都度大きく変わるロータリー、I serveかWe serveか、ロータリーの財団化、出席規定、職業奉仕の哲学、会員資格、特にロータリーの目的の第四項に書かれた職業人とはどのような人を指すのか？等々その変質にとまどいながら、今後自分自身ロータリーとどう向き合っていけば良いのか、そしてポールハリスの言う変化をしなければ、ロータリーは生き残れないのか？それでは、今後どの様な変化が次の世代のロータリーにとって良いのかを考えさせられる毎日でした。

年度初めに、真のクラブの自治権とは何か？ロータリーの本質とは何か？を考えるとしていましたが、未だ結論が出せないままです。

ひょっとすると、ロータリアンでいる限りそうなのかも知れません。

それでも私自身ロータリーは人作りであり自分磨きの場であると考え、超私の奉仕を標榜するぶれない群れない懼れないそして寛容の精神を忘れない会員でありたいと思います。

最後に、浅学非才の私を温かく励まして頂きました第四分区の会長・幹事様はじめ会員の皆様、そして分区幹事の江澤貞雄様には、心より感謝申し上げます。一年間本当に有難うございました。



ロータリーを考える

第5分区ガバナー補佐
千倉RC 川名 幸雄

この1年間の生活の変化はここ数年間では大きなものだった。勝浦から鋸南まで数回通ったり、千葉市へ出て行くことも多かった。いつもは腕時計もなく、時間を気にしなくとも良い生活から、何時何分頃家を出て、目的地へは何時何分頃着かなければいけないと決められた生活をすることも多かった。

もっと大きな変化は、ロータリーに対する考え方というか、例会の考え方が大きく変わったことだ。以前は例会は出席して、皆さんと雑談して、卓話を聞いて「今日は楽しかったな」という事で満足していた。例会を楽しく過ごせばそれで満足だった。

コン・ウエイ元RI会長は「あなたはロータリアンですか、それとも只の会員ですか」と問いかけています。「ロータリー入門書（前原勝樹）」

ところが、各クラブへお邪魔したり各種セミナーに参加することが多くなるに従い、ロータリーの何たるかを考えるようになってきた。

ロータリーの目的は綱領と言われた時代より、〈意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを

育むことにある〉とあり、具体的には第1～第4にまとめられている。

ロータリーの本質・本願について関口ガバナーは〈ロータリーの本質ないし本願は、この世を倫理道徳心に溢れた人間社会で満たすことのお手伝いをする事にある〉と話されている。*本質とは、あるものをそのものとして成り立たせているそれ独自の性質（広辞苑）*本願〈この世の哀れなものを一人残らず救うぞ、と言う阿弥陀仏の誓いを、本願という〉。と五木寛之は親鸞の中で書いている。即ち本願とは〈どうしても実現したい願い〉である。

ロータリアンは、ロータリーの本願を実現させるための伝道者的役割を担っているのだから、その役割を十二分に理解して自分自身を磨き、徳の深い品格のある人間なる努力をする必要がある。

自分自身を磨き、パワーを身につけ〈奉仕の心〉を育み、それを社会の人々に影響させ、倫理道徳心を提唱していくのがロータリアンの使命である。

したがってロータリアンは常に「いかにしたら徳の深い品格のある人間になれるか」という問題意識を持って例会に出席すべきである。例会は自己研鑽する最良の場である。ロータリーの例会は人間修養の道場である。（米山梅吉）

問題意識を持った日常生活が、生活の中でヒントを得たり、読み物（ロータリーの友、抜萃つづり、新聞、その他）が読みたくなったり、参考になったりする。それでこそ、只の会員ではなくロータリアンであろう。



素晴らしい仲間と 共に

第6分区ガバナー補佐
大原RC 土屋 利夫

ガバナー補佐を選出する大原RCからの推薦を受け、大役に押しつぶされそうな重圧を感じながらの船出から、はや1年が過ぎようとしています。

顧みて思う事は補佐予定者会議、希望と不安が交錯する複雑な気持ちの中、参加させて頂き、不肖私とその職務を無事務め上げる事が出来るのか。不安が先行する日々が続いていたことを思い出します。

関口ガバナーは、あくまでも個人的な考えとしながら、地区運営の基本的方針に「親睦」を強調されました。

5月に次年度会長幹事を招集、初会合を開き、年度テーマを「目標を掲げよう！ 結果を出そう！」と、致しました。目標は勿論「親睦の充実」です。

会議で、開催場所はどのクラブからも集まり易く、会議時間も約60分に限定、更に懇親会は特別な行事を除いては実施しない旨を提案、更に会長幹事会が活発な意見交換の場となるよう白鳥PGにお越しを願い、RLIについてのお話を頂きました。

会場は、東金商工会議所と決め、会長幹事会費を「親睦会」実施費用に充当させて頂く事としました。協議を

重ねた結果第1弾は、会員誰でもが参加可能な内容にして、「早春の中房総の旅」を企画、いすみ鉄道の車両を貸切り、菜の花と桜のコラボレーションと食事を楽しむイベントを3月28日実施致しました。また、親睦会第2弾は、5月16日（金）、会員家族親睦ゴルフ大会を、ラフォーレ&松尾GCで開催。それぞれ多くの会員が参加の中、会長幹事並び各クラブ協力のもと、成功裏に終了させて頂く事が出来ました。

分区活動の上期は、ガバナー公式訪問が7月23日、地区のトップを切って東金RC、翌日に大網RC、更に茂原東RCと続きました。公式訪問に対する資料の提出を関口ガバナーから求められた今年、活動計画書+αをクラブ会長幹事をお願いをし、公式訪問は11月茂原中央RCを最後に無事終了致しましたが、私にとっては常にデビュー戦でした。そして、上期から下期へと皆さんのお力添えのお蔭で繋げる事が出来ました。下期最大で重要な会議「I・M」

PDG白鳥政孝様にリーダーを依頼、「ロータリーからの贈り物」と題した基調講演では、意義ある例会の運営と奉仕活動の実践、会員が楽しく集い親睦を深め、ロータリーが目指す活動の充実など、学ばせていただきました。

振り返れば、関口ガバナー年度で貴重な経験をさせて頂く中、多くのロータリアンの友情に支えられた1年であり、「素晴らしい仲間」との出会いとご指導のお蔭で無事大役を果たすことが出来そうです。

各クラブ会長幹事、会員の皆様、地区の皆様、事務局の方々にご支援ご協力賜りました事、心より厚く御礼申し上げます。



一年を振り返って

第7分区ガバナー補佐
旭RC 椎名 正良

2年前9月にガバナー補佐をお引き受けいたしました。私にとりましては、歴代の皆さんのように務めを果たすことが出来るだろうか、その後日々悩みました。

しかし、時は刻々と進み、10月には次年度ガバナー補佐予定者会議が「顔合わせの会」として行われ、動き出しました。

第2回補佐会議は12月に行われ、地区運営の基本方針についてのディスカッション。1月～2月には地区委員長の皆様との合同会議など。3月～4月は地区チーム研修セミナー、地区協議会。6月に第7回補佐予定者会議が行われ新年度への準備が整い、いよいよスタートの時となりました。

分区内各クラブには、先ず関口ガバナーの方針をお話しさせて頂きました。私達の分区では最近恒例になっております自己紹介を兼ね、家業についての卓話をさせて頂きました。

次の訪問はガバナー公式訪問前のクラブ協議会「元気なクラブを目指して」と、「会員増強」については特に力を入れて話し合い、お願いを致しました。

そして公式訪問、関口ガバナーより五大奉仕すべてにわたりご指導頂き、有意義なクラブ協議会となりました。

ロータリー情報研究会は、地区主催で各クラブより2名の委員が出席され一堂に集い、共通のテーマ「会員増強の意義について」、サブテーマは「例会の重要性」又は「職業奉仕の重要性について」を14のテーブルに於いて各テーブルごとのディスカッション、勉強会と有意義な一日でした。

2月にはインターシティー・ミーティングを開催致しました。リーダーにガバナーエレクト宇佐見透様をお迎えし、基調講演では、「私とロータリー」と題し、故郷のお話から国際協議会でのエピソード、ロータリー哲学等、大変興味深いお話をさせて頂きました。第2部は、各クラブより代表2名ずつの意見発表「元気なクラブを目指して」の基本方針を念頭に「会員の増強」「例会の重要性」について8名の方々に大変内容の濃い発表を頂きました。

5月には分区のゴルフコンペに多数の皆様のお参加を頂き、楽しい一日を過ごさせて頂きました。この大会をもって分区での大きな事業、行事が終わります。

今一度関口ガバナーの「元気なクラブを目指して」を各クラブにお願ひし、今後のロータリー活動に生かして頂きたいと思っております。

この一年間、分区内各クラブの会長幹事さんをはじめ会員の皆様のお支えを頂き、クラブ訪問時にも温かく迎えて頂きました。私にとりまして、忘れることのできない一年です。

最後に、皆様のご支援ご協力に心から感謝を申し上げ、御礼のことばと致します。



一年を振り返って

第8分区ガバナー補佐
小見川RC 山田 要

昨年7月から第8分区のガバナー補佐として、活動を始めてから今日まで、分区内クラブ訪問、ロータリー情報研究会、ガバナー公式訪問、インターシテイミーティング、分区内会長、幹事会や各セミナー参加等ガバナー補佐として種々の業務を行ってきました。

当初は、戸惑いもありましたが、各クラブの会長、幹事、会員の皆様のご協力のお蔭で、ガバナー補佐としての務めを果たす事ができました。

ロータリーの友情に心より感謝申しあげます。
第8分区は、4クラブ106名の会員で現在活動を行っております。決して大きな分区ではございませんが、各クラブの会員一人一人が熱心にロータリー活動を行っていることが、ガバナー補佐として各クラブを訪問して強く感じました。

今後、各クラブの更なる発展を願っております。
ガバナー補佐として数多くのガバナー補佐会議に出席し、関口ガバナーをはじめ多くの方々とお話させていただき、親睦を深める事ができましたことは私自身にとって、今後ロータリー活動を続けていくうえで大変貴重なものになりました。

結びにあたりこの一年間皆様のご支援、ご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。有難うございました。



一年を振り返り

第9分区ガバナー補佐
成田RC 設楽 正行

昨年ガバナー補佐就任にあたり、関口Gより地区と分区の連絡、調整役のみならず、当該分区のガバナーとしての心づもりで活動するようにとの話がありました。つまり、従来のG公式訪問を我々がやるようにとのことで、これで地区がDLPを採用して以来、初めて本来のあり方となったわけです。しかし、当初補佐から、ガバナー程の経験、見識があるわけでない我々が公式訪問など出来かねるということで拒否反応をしましたが、PG白鳥研修リーダーの「毎年同じでいいの、変化の無い組織はおかしくなるよ」との言葉で全員がちょっと不安の中にもやってみようとの気構えで船出したわけです。

補佐訪問では関口Gの重点目標である、親睦と奉仕を両輪として、元気なクラブとなるための工夫、支援を行うとともに、会員増強のための施策など、その真意を各クラブに伝え、共に最適な方法話を話しました。分区内各クラブには暖かく迎えていただき、不慣れな私の拙い講評にも真摯に受け答えをしていただき感謝、感謝の気持ちで一杯であります。分区内会長、幹事をはじめ会員の皆様に心より御礼申し上げます。

さて、G補佐エレクトの時、関口Gの方針とは別に何か私が分区のためにできることは無いか模索していました。そんな折、ある他クラブの会員から「だ

れか卓話をしてくれる方いませんか」との申し出がありました。会員数の少ないクラブで例会の進行に苦心しているとのことでありました。そこから分区内で卓話のできる会員を組織したならば、クラブ間の交流と会員間の絆がより深まるだろうと思い、名づけて「第9分区ロータリー人材バンク」として卓話者を募集いたしました。幸いにも全会員数220名の中、25名の登録があり、各事務局に流しました。現在結構利用し合っていることから、今後とも歴代補佐にはこれを拡大していただければ幸いです。

9月の情報研究会では他団体と違う、Rの根幹をなす職業奉仕について、会員に必ず理解してもらうためクラブの中核をなす会員が集まり、その結果をクラブで研修し、反映するよう求められました。また、G補佐主催の2月のIMでは平山PGの紹介で二宮尊徳7代目の子孫中桐真理子先生を講師に尊徳翁の生きざまから、会員にRの中核的価値観について思いを馳せていただきました。

話変わって、最近RIに対する不信の声がよく聞かれます。RIは上意下達の組織ではなく様々な変更は多数決により決定されます。したがって我々が理想とするRとしたければ量的拡大は必須です。また、RIでは様々な推奨事項が決定されます。そこで自クラブにとって有用と思われるものを活性化のために積極的に取り入れたらどうでしょうか。機能しなければ元に戻せばいいことで、まずは改革してみる気概が必要と思います。100年続いた企業は同じ事の繰り返しの100年ではなく日々改革の100年だったといいます。第9分区内、元気で活力あるクラブになるため共に頑張りましょう。



一年を振り返って

第10分区ガバナー補佐
柏RC 風澤 俊夫

次期ガバナー補佐になる様、お話がありました時、なんとなく軽く受けてしまいました。

幸いにも第10分区にはガバナー補佐幹事の役職があり、私は有能な人材にそれを指名し、お願い致しました。私も体は動かしましたが、報・連・相を受けつつ、企画・運営は「良きに謀らえ」方式で、悩む事なく、混乱する事なく私の職責は終了しようとしています。有難いことです。

私がこの一年で一番緊張しましたのは、やはり関口ガバナーの各クラブへの公式訪問でした。第10分区は5クラブで構成されていますが、例会運営にそれぞれの特徴があり、仕方が違い、それぞれ独特の雰囲気がありますので、うまくお迎え出来るのかとても心配でした。しかし、結果はガバナーからそこそこの良い総評を戴けたかと存じます。

さて、関口ガバナーのテーマは職業奉仕と親睦であり、それによって「元気なクラブづくり」をする事で、地区会員数を瞬間でもいいから3,000人にしたいとの事です。

職業奉仕については、各クラブに卓話でもって、力を入れるよう申し上げましたが、成果の程はさっぱりわかりません。

親睦は5クラブそれぞれ工夫して、例会では和気藹々、親睦活動、移動例会なども色々考えて行われました。

会員数では、7～2月の8ヶ月で当分区10人の増加となりました。特に柏東RCは5年増で地区内トップタイです。比較的会員数が少ないクラブが工夫と努力でもって若い会員を多く入れました。ですからそれらのクラブは活動に元気さが増えてきました。そんな訳で4月29日に奉仕活動優秀分区（会員増強率）の表彰状を戴きました。

又、我孫子RCがついに女性会員を迎えまして、全クラブに女性会員が所属する事になりました。柏RCの9名（全国でも4、5位だと思ふ）を始め、2月時点で当分区の女性会員数は21名となり、地区一番です。これについての表彰状はありませんでしたが。

又、私の勘でしかありませんが、各クラブの出席率も良くなったと思います。そう思いますと第10分区は「元気なクラブづくり」に励んだのかと存じます。

最後に各クラブの会長、幹事様、多くのフェローの皆様のご協力、それに良きに謀ってくれた補佐幹事と事務局の支えによって、無事過ごせました事に感謝申し上げます。



分区クラブの活性化に…

第11分区ガバナー補佐
四街道RC 今泉 重弘

入会歴が古いだけで実力は不足していましたが、ガバナー補佐の役目を指名されました。

関口ガバナーの意向を分区のクラブにお伝えしてクラブの活性化（及び会員増強）になるべく少しでも援助となればと思ひ、会長幹事会を中心に進行を深めていきたいと出発しました。

ご挨拶に各クラブを訪問しクラブの雰囲気等を知ることから始めました。私としてはメーカーは今まで殆ど無いに等しい者であったので所属する自クラブで知らなかったことを勉強させていただきました。

7、8、9月にガバナー訪問の日程が組まれていましたので確かに大変でしたが関口ガバナーの訪問が少しでも有効になるよう各クラブの実情等を報告し何とかガバナー訪問の日程を完了しました。

情報研究会は県全体で行うということで気分的に楽であったためIMに全力を注ぐように計画をし2月の

IMでは補佐が計画を立て自由ということなので11分区の懇親を一層深める内容としました。2月となるともう任期も終わりだという風潮になるので残りの任期を有効に活動してもらいたかったので、私も含め各クラブの会長さんには抱負を発表していただき、第二部として大懇親会を盛大に開催させていただきました。

4月、分区の行事の最後として、分区ゴルフ大会を開催し天気にも恵まれ無事終了いたしました。一年を通じて各クラブの会長、幹事さん、そして会員の皆さん、又自クラブの会員の方々、そして補佐の幹事の古川さん、本当に自分ではとてもできない役目を努めさせていただきありがとうございました。

最後に私は只、会員歴が古いだけでロータリーの事を勉強していませんでしたが、この補佐のお役を引き受けた事を境に今後のロータリー活動に活かしていきたいと考えております。

この一年確実に実行した事が一つあります。当たり前かもしりませんが今までロータリーのバッチを付けたり付けなかったりいい加減でした。しかし、この一年背広を着た時は全てつけました。ということはこのバッジに恥じない言動を実行しこれから精進していきたいと思ひます。

これがこの一年の成果と考えています。



一年を振り返って

第12分区ガバナー補佐
松戸北RC 渡辺 敏弘

とにかく補佐在任中に体調を崩しては、皆様に迷惑をおかけするので、健康には人一倍気遣いをした。その甲斐あって今日に至るまで寝込むことなく過ごせたのは幸いでありました。

非力だと承知しつつ無謀にも歴史と伝統のある分区のガバナー補佐をお引受けして以来、後悔と不安と期待の交錯する日々であった私が、大過なく責務を果たす事ができましたのも、ひとえに補佐幹事を始め、分区の会長幹事、会員の皆様と多くの関係者のご支援とご協力の賜物と心よりお礼申し上げます。

お陰で9月から始まったクラブ公式訪問、9月1日の情報研究会、11月9～10日の地区大会、2月4日のIMと無事終わることができ、残すところの分区クラブ対抗ゴルフ大会を開催して、私の役目は終了します。

これらの行事の中でも、IMは特に印象深く記憶に残っています。パストガバナーの杉木禧夫様をリーダーとしてお迎えし『ロータリーの中核となる価値観について』という演題で職業奉仕を中心に基調講演をして頂きました。

続いて『親睦を深め奉仕活動を推進しよう』一魅力あるクラブを目指して一というテーマで各クラブの会長エレクトより次年度に向けての意欲と機知に富んだ発表があり、大変有意義な会でありました。このテーマは関口ガバナーの今年度地区目標のキーワードである『親睦』『奉仕』『元気』『クラブ』に思いを至し婉曲に考え、決めさせて頂きました。

顧みると、昨年7月の補佐就任挨拶に各クラブを訪問した際、会長、幹事さんや会員の皆様のあたたかい歓迎と友情に接し、それまでの緊張が解消し、改めて補佐としての役割を懸命に務めようと意を強く決したことが、今でも懐かしく思い出されます。

また熱血漢、関口ガバナーのご指導、ご薫陶のもとにロータリーについて真剣に向かい合い学ばせて頂きましたが、逆にガバナーの期待にどれ程沿えたか、活動方針や意向を迅速正確に伝達しえたかという話になりますと内心忸怩たるものがあります。

この一年間、ガバナー、同期の補佐の皆様、そして分区会員の方々と新たな出会いと交流があり、ロータリーに対する視野が一層広がり、更にロータリーの友情と寛容の心に身をもって触れることが出来たことは、私の人生に何物にも代え難い貴重な経験となりました。この素晴らしい経験をロータリー活動に、今後の人生に活かす思いです。

最後に関口ガバナー始め、会長幹事、分区の皆様改めて深い感謝を申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐を終えて 新たに始まるロータリー活動

第13分区ガバナー補佐
流山中央RC 田口 佳子

第1回ガバナー補佐会議が2012年10月に開催されてからもう2年半、初めての会議に緊張感を持って臨んだ事が、今では懐かしく思い出されます。ガバナー補佐とは、分区内のクラブの会長、幹事を通して、会員にロータリー活動への関心と知識を深めて頂くため、様々な活動の実態をお伝えし、会員の皆様のロータリアンとしてより一層の自覚を促すという重い役目でありましたので、任期の一年間精一杯努力して参りました。しかし、果たすべき役割の半分にも到達できなかったという自責の念で今は、一杯でございます。

関口ガバナーから、補佐が出来るガバナー補佐であって欲しいとのご要望にお応えするべく、分区内をまとめ地区の発展の為に、会員の皆様のご協力、ご支援を得て、情報研究会、ガバナー公式訪問、地区大会、IMと各種活動を進めさせて頂き、任期の一年間が終わろうとしています。今年度の情報研究会は全体での研究会でありまして、会員増強、職業奉仕について討論しましたが、私の勉強不足もあり、議論を深めることが難しく、散漫に終わってしまったのではないかと反省の日々でございます。

ガバナー公式訪問では、事前にガバナー補佐が各クラ

ブを訪問し、問題点を把握し報告するという形式でありました為、各会長、幹事と密に連絡を取り合い、共通の意志の下に各地区を訪問したことが思い出されます。各クラブの皆様には、暖かく迎え入れていただき、真摯に向かい合って討論することが出来ました事に、今ここで感謝の気持ちを申し上げたいと思います。各クラブへは各5回訪問し、最終の挨拶を終えますと6回になるかと思えます。時折飲み会へも参加させて頂き、親睦を深め、大いに話し合う機会を持たせて頂いたのも懐かしい思い出となりました。各会長、幹事の努力にお礼申し上げます。

記録的な大雪の中開催致しましたI.M. 職業奉仕に関連して、講演は慈恵医科大学鈴木直樹教授に最前線の医療について様々なデータと共にお話いただき、刺激を頂戴致しました。「ロータリーがつなぐ人類の未来」という難しいテーマにも各クラブの会長エレクトの皆様には果敢な発表をいただき、雪の中、会場の内も外も異次元の世界が広がる中で、皆様と新鮮な気持ちで思考する貴重で得難い時間を持たせて頂きました。

会員増強の面では分区内では夫々増強が進んでいる様で、退会者も出ず、活動を終えようとしております。ロータリーとは、この世を倫理道徳心にあふれた人間社会で満たすことのお手伝いといわれております。会員一人一人が強い意識を持って進んで行く活動であることを望んでおります。

関口ガバナーの具体的な筋書きを示した明確なロータリー活動への考え方、真摯な生き方に触れて参りましたこの一年。これからの私のロータリー活動の新たな始まりと思っております。各クラブの会長、幹事様、13分区の会員の皆様、ご支援と貴重な経験、ありがとうございました。

2016-2017年度 ガバナー候補者推薦のお願い

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 関口 徳雄
地区指名委員会
委員長 中村 博巨

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2016-17年度ガバナーに就任するガバナーノミニ・デジグネート候補者の推薦を希望されるロータリークラブは、2014年7月22日までに地区ガバナー指名委員会委員長あて（第2790地区ガバナー事務所気付）に文章を以ってご推薦下さいますようお願い致します。推薦される場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。
尚、ガバナー指名委員会委員長が、その選択をするにあたっては、その選択範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません事を申し添えます。（国際ロータリー細則第13.020.5項）ガバナーデグジネイト資格条件は、国際ロータリー細則15070項をご参照下さい。

今月の「行事予定」、「文庫通信」、「(公財)ロータリー米山奨学会ニュース」は紙面の都合により掲載しておりませんので、ホームページ等でご確認ください。

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー) ……………



金本元章
(柏西 RC)
7回目

年次寄付 (新PHF) ……………



本多一之
(市川南 RC)

恒久寄付 (ベネファクター) ……………



鈴木桂三
(柏西 RC)
4回目

恒久寄付 (新ベネファクター) ……………



能勢大弘
(千葉幕張 RC)

米山記念奨学会寄付

米山功労者 ……………



狩野文夫
(船橋 RC)
9回目



伊藤愛彦
(千葉幕張 RC)
2回目



堀口路加
(成田 RC)
1回目

メジャードナー ……………



豊田 啓
(成田 RC)
11回目

新ロータリアン(敬称略)



金成 竜
(館山ベイ RC)
遊技業
4月3日入会



本多典子
(大原 RC)
作家
4月3日入会



有高利浩
(松戸西 RC)
賃貸物件仲介
4月9日入会



河合 淳也
(千葉 RC)
都市再開発
4月14日入会



中臺雅樹
(銚子東 RC)
地方銀行
4月15日入会



酒井 達能
(袖ヶ浦 RC)
都市ガス製造
4月21日入会



永井 廉
(新千葉 RC)
福祉施設
4月23日入会



大野 岳明
(成田コスモポリタン RC)
都市ホテル
4月23日入会



渡辺 哲夫
(富津中央 RC)
土木コンサルタント
5月1日入会



金子光晴
(富津中央 RC)
自動車教習
5月1日入会



栗原 典子
(富津中央 RC)
飲食業
5月1日入会



星野 宏明
(印西 RC)
弁護士
5月1日入会



小澤 祐二
(市原 RC)
金融(信用金庫)
5月2日入会



富樫 光則
(市川南 RC)
薬局
5月7日入会



細見 恭司
(千葉南 RC)
ホテル
5月9日入会



松浦 広樹
(千葉南 RC)
信用金庫
5月9日入会



永井 陸博
(千葉 RC)
建築
5月12日入会



旭日小経章
(敬称略)



柳内 光子
(市川南 RC)

藍綬 褒章
(敬称略)



那須 隆吉
(市川南 RC)

R.I. 第2790地区 (千葉) 2014年4月出席・会員数報告

| 分区 | クラブ名 | 出席率 % | 例会数 | 会員数 | | | | |
|-------|--------|--------|-----|-----|----|----|---|----|
| | | | | 7/1 | 女 | 当月 | 女 | 増減 |
| 第1分区 | 市川 | 100.00 | 4 | 39 | 1 | 41 | 0 | 2 |
| | 市川東 | 100.00 | 4 | 38 | 0 | 41 | 0 | 3 |
| | 市川南 | 81.00 | 4 | 15 | 1 | 16 | 2 | 1 |
| | 浦安 | 86.90 | 4 | 41 | 0 | 39 | 0 | △2 |
| | 市川シビック | 83.33 | 3 | 34 | 0 | 35 | 0 | 1 |
| | 浦安ベイ | 76.56 | 4 | 17 | 0 | 16 | 0 | △1 |
| 第2分区 | 船橋 | 90.08 | 4 | 25 | 0 | 26 | 0 | 1 |
| | 船橋西 | 88.10 | 4 | 41 | 5 | 42 | 5 | 1 |
| | 鎌ヶ谷 | 86.60 | 4 | 26 | 2 | 26 | 2 | 0 |
| | 船橋東 | 86.31 | 4 | 27 | 2 | 29 | 2 | 2 |
| | 船橋南 | 88.88 | 4 | 21 | 2 | 21 | 2 | 0 |
| | 船橋みなと | 81.98 | 4 | 22 | 7 | 22 | 7 | 0 |
| 第3分区A | 千葉 | 90.45 | 3 | 65 | 1 | 65 | 1 | 0 |
| | 新千葉 | 78.68 | 3 | 43 | 0 | 45 | 0 | 2 |
| | 千葉西 | 79.00 | 4 | 58 | 4 | 65 | 5 | 7 |
| | 千葉中央 | 77.17 | 4 | 37 | 0 | 35 | 0 | △2 |
| | 千葉幕張 | 81.76 | 4 | 37 | 3 | 37 | 3 | 0 |
| | 千葉東 | 66.67 | 3 | 31 | 4 | 32 | 4 | 1 |
| | 千葉若潮 | 67.72 | 4 | 30 | 2 | 30 | 2 | 0 |
| 第3分区B | 千葉南 | 82.31 | 3 | 42 | 5 | 49 | 7 | 7 |
| | 市原 | 75.11 | 5 | 46 | 3 | 44 | 3 | △2 |
| | 千葉港 | 62.00 | 4 | 27 | 0 | 28 | 1 | 1 |
| | 市原中央 | 86.97 | 4 | 51 | 2 | 51 | 2 | 0 |
| | 千葉北 | 59.37 | 4 | 25 | 3 | 24 | 3 | △1 |
| 第4分区 | 千葉緑 | 91.35 | 4 | 26 | 3 | 26 | 3 | 0 |
| | 木更津 | 89.34 | 4 | 37 | 4 | 35 | 2 | △2 |
| | 上総 | 72.36 | 4 | 20 | 0 | 19 | 0 | △1 |
| | 富津 | 92.00 | 5 | 15 | 0 | 15 | 0 | 0 |
| | 富津中央 | 85.10 | 4 | 21 | 0 | 21 | 0 | 0 |
| | 木更津東 | 90.18 | 5 | 42 | 0 | 41 | 0 | △1 |
| | 君津 | 93.86 | 3 | 41 | 2 | 43 | 2 | 2 |
| | 袖ヶ浦 | 90.84 | 3 | 23 | 3 | 23 | 3 | 0 |
| 第5分区 | 富津シティ | 80.30 | 4 | 15 | 0 | 14 | 0 | △1 |
| | 館山 | 76.30 | 5 | 55 | 3 | 60 | 3 | 5 |
| | 鴨川 | 91.30 | 4 | 33 | 6 | 35 | 7 | 2 |
| | 勝浦 | 89.87 | 4 | 38 | 5 | 37 | 5 | △1 |
| | 千倉 | 75.76 | 3 | 9 | 1 | 11 | 1 | 2 |
| | 鋸南 | 85.70 | 4 | 13 | 1 | 14 | 1 | 1 |
| 第6分区 | 館山ベイ | 80.85 | 4 | 16 | 0 | 20 | 0 | 4 |
| | 茂原 | 90.19 | 3 | 55 | 2 | 57 | 2 | 2 |
| | 東金 | 87.49 | 4 | 22 | 1 | 22 | 1 | 0 |
| 大原 | 85.00 | 4 | 14 | 2 | 20 | 3 | 6 | |

| 分区 | クラブ名 | 出席率 % | 例会数 | 会員数 | | | | |
|---------|-----------|-------|-----|-----|----|----|---|----|
| | | | | 7/1 | 女 | 当月 | 女 | 増減 |
| 第6分区 | 大多喜 | 80.00 | 4 | 8 | 1 | 10 | 1 | 2 |
| | 成田空港南 | 85.09 | 3 | 36 | 0 | 37 | 0 | 1 |
| | 茂原東 | 89.25 | 4 | 22 | 2 | 22 | 2 | 0 |
| | 茂原中央 | 83.93 | 4 | 17 | 2 | 14 | 2 | △3 |
| | 大網 | 80.84 | 4 | 30 | 1 | 30 | 1 | 0 |
| | 東金ビュー | 70.19 | 4 | 25 | 2 | 26 | 3 | 1 |
| 第7分区 | 銚子 | 83.75 | 4 | 44 | 4 | 43 | 4 | △1 |
| | 旭 | 86.60 | 4 | 40 | 0 | 43 | 2 | 3 |
| | 八日市場 | 90.18 | 4 | 41 | 2 | 41 | 2 | 0 |
| 第8分区 | 銚子東 | 76.43 | 4 | 40 | 2 | 41 | 2 | 1 |
| | 佐原 | 82.66 | 4 | 46 | 0 | 46 | 0 | 0 |
| 第9分区 | 多古 | 82.70 | 4 | 13 | 0 | 14 | 0 | 1 |
| | 小見川 | 90.48 | 3 | 20 | 0 | 21 | 0 | 1 |
| | 佐原香取 | 93.02 | 4 | 27 | 0 | 27 | 0 | 0 |
| | 成田 | 91.39 | 4 | 61 | 1 | 62 | 1 | 1 |
| 第10分区 | 八街 | 86.46 | 4 | 33 | 1 | 31 | 1 | △2 |
| | 印西 | 81.19 | 5 | 26 | 0 | 25 | 0 | △1 |
| | 白井 | 76.00 | 4 | 16 | 0 | 17 | 0 | 1 |
| | 富里 | 78.25 | 4 | 24 | 0 | 27 | 0 | 3 |
| | 成田コスモポリタン | 67.59 | 5 | 64 | 0 | 70 | 0 | 6 |
| 第11分区 | 柏 | 91.80 | 4 | 52 | 9 | 51 | 9 | △1 |
| | 我孫子 | 85.90 | 4 | 24 | 0 | 26 | 1 | 2 |
| | 柏西 | 85.96 | 4 | 58 | 3 | 57 | 3 | △1 |
| | 柏東 | 92.30 | 4 | 23 | 1 | 28 | 3 | 5 |
| | 柏南 | 86.00 | 4 | 29 | 4 | 32 | 5 | 3 |
| 第12分区 | 習志野 | 66.70 | 3 | 30 | 1 | 30 | 1 | 0 |
| | 八千代 | 80.75 | 4 | 45 | 0 | 46 | 0 | 1 |
| | 佐倉 | 52.78 | 4 | 18 | 2 | 18 | 2 | 0 |
| | 八千代中央 | 81.00 | 4 | 26 | 0 | 28 | 0 | 2 |
| | 四街道 | 80.60 | 5 | 24 | 3 | 24 | 3 | 0 |
| | 習志野中央 | 76.00 | 4 | 47 | 6 | 50 | 6 | 3 |
| | 佐倉中央 | 66.66 | 4 | 17 | 2 | 18 | 1 | 1 |
| 第13分区 | 松戸 | 83.52 | 4 | 55 | 0 | 55 | 0 | 0 |
| | 松戸東 | 93.13 | 4 | 51 | 0 | 51 | 0 | 0 |
| | 松戸北 | 82.71 | 4 | 35 | 0 | 37 | 0 | 2 |
| | 松戸中央 | 90.32 | 4 | 34 | 2 | 33 | 2 | △1 |
| 第13分区 | 松戸西 | 90.63 | 4 | 24 | 0 | 24 | 0 | 0 |
| | 野田 | 85.00 | 4 | 50 | 5 | 54 | 5 | 4 |
| | 流山 | 85.50 | 4 | 20 | 4 | 20 | 4 | 0 |
| | 野田東 | 83.60 | 4 | 31 | 0 | 32 | 0 | 1 |
| | 流山中央 | 77.20 | 4 | 22 | 2 | 22 | 2 | 0 |
| 野田セントラル | 78.26 | 4 | 22 | 0 | 23 | 0 | 1 | |

クラブ数 84R.C. 2013年 7月1日 地区会員数 2,703人
 2014年 4月末日 地区会員数 2,778人
 2013年 7月1日 地区女性会員数 142人
 2014年 4月末日 地区女性会員数 152人

当月平均出席率 83.33%
 増減 +75
 女性会員増減 +10

物故会員(敬称略)



佐野 孝雄 (浦安RC)
 逝去日: 2014年5月8日 (享年56歳)
 入会日: 2007年1月19日

6月のロータリー
 レート

102円